



中央中だより

<第7号>



◇ 実りの秋・充実した学校行事に ◇

中学校の2学期は、運動会・合唱祭・部活動新人大会・学習成果発表会等の行事が集中する充実した期間です。中央中学校でも今までの学習の成果を発表すべく様々な学校行事の実行委員や準備が本格的に動き出しています。

🏃 運動会に向けて 🏃

競技種目が決定し、各クラスでは、選手決めや種目練習が始まっています。体育の授業でも運動会に向けた練習が始まりました。保護者の皆様には、10/7（水）当日の競技やダンスで全力を尽くす生徒たちの姿だけでなく、仲間と協力したり、励まし合ったりする姿や、自らの役割（係の仕事など）を全うする姿など、一人ひとりが様々な場面で主役となり、責任を果たし、活躍する姿もご覧いただければと思っています。運動会を通して、生徒たちには、勝ち負けを超えて互いの良さを認め合い、全員で作上げる喜びを経験することで、次への成長へとつなげたいと考えています。



♪ 合唱祭に向けて ♪



保護者の皆様も経験があるのではないのでしょうか？「先生～！男子がまじめに歌わないので注意してください！」「〇〇さんが練習しないで帰っちゃった！」「〇〇さんが泣いてます！」など、私が以前、担任をしていた頃は「合唱あるある」でした。久しぶりの中学校なので、今はどうか分かりませんが、昔も今もクラスの仲間や先生方との絆が深まる行事の一つであると思っています。紆余曲折があって、本番のステージに立つ生徒の姿をそれまでの過程を振り返りながら、見つめる先生を見ると私は心が熱くなります。本校の「合唱祭」は、相手に勝った負けたではなく、よりよいものを作り上げ、目指すスタイルです。

当日は、多くの保護者の皆様だけでなく、地域の皆様や校区の小学生にもご覧いただき、中学生の音楽で会場のすべての方々が楽しく、そして、心が豊かになる時間が過ごせる行事になるようにしたいと思います。

<2年生職場体験>

職場体験学習は、生徒が実際の職場で働く経験を通して、勤労観や職業観を育む重要な教育活動です。職場体験学習の主な教育的意義は以下の通りです。

- ①望ましい職業観の育成： 実際に仕事を体験し、働くことの楽しさや厳しさ、尊さを肌で実感できる。
- ②主体的進路選択： 学校の教科書だけでは分からない仕事の実際を知り、将来の生き方や進路を自分で考えるきっかけになる。
- ③社会性の向上： 職場で働く大人と接し、社会の仕組みやマナー、コミュニケーションの大切さを学べる。
- ④地域や家庭との連携： 地域社会の中で生徒を育てる機運を高め、家庭でも仕事について話し合うきっかけを作る。
(文部科学省：進路指導・キャリア教育について「職場体験の基本的な考え方」より)

本校でも上記の意義を踏まえ、地元の事業所にご協力をいただき、毎年2年生が職場体験学習を実施しています。今年度も14業種、25の事業所にご協力いただき9月16・17日の2日間実施いたしました。なお、活動の趣旨をご理解いただき、生徒たちに貴重な体験をさせていただきました事業所の皆様には、心より感謝申し上げます。生徒たちは、教室では学べない多くの経験をすることができたと思います。ご家庭でも今回を一つのよい機会と捉え「体験後の感想」や「仕事や働くこと（意義）について」「保護者としての思い（願い）」など、話題にいただければ幸いです。

＜1年生榛名高原学校＞

高原学校は、家から離れ、自然の中で集団生活を行い、SNSやテレビなどのない暮らしを通じて、生徒たちの社会性と自立心を育み、心身を成長させると場であると考えています。具体的には、以下の視点で生徒たちの成長を促したい考え、実施しました。



- ①**不便さから学ぶ**：スマホや便利な家電がない環境（脱メディア）で、仲間と協力して様々な体験活動を行うことで、日常（保護者の支援）のありがたさに気づき、主体的な課題解決力を養いたい。
- ②**社会性と協調性の育成**：時間や空間に制限のある共同生活の中で、互いに譲り合い、係活動などの役割を果たすことで、規律（ルール）や仲間との絆（友情・信頼）を深めたい。
- ③**自然体験による心身の鍛錬**：ハイキングやカッターなど、非日常を経験する中で様々な困難を乗り越え、豊かな感性を育むとともに、大きな達成感と自信を得てほしい。

※中学校生活にも徐々に慣れてきた1年生、中学生としての土台を作るこの時期だからこそ、仲間との協働を通して、さらにたくましくなってほしいと願っています。高原学校を終えた1年生のこれからの活躍が楽しみです！

”中央中”を背負い新人大会で活躍する1・2年生

9月に入り土日や祝日を中心に各会場で市の新人大大会が行われています。先輩方から渡された中央中の部活動のバトンを、後輩たちがしっかり引き継ぎ、それぞれの目標に向けてがんばってくれています。保護者や地域の皆様には、これからもがんばっている中央中の生徒たちを応援していただければ幸いです。



中央中から熊本へ元気と支援を 一生徒会が募金活動一



9月15～18日の4日間、生徒会本部各員の生徒たちが中心となって「熊本地震への支援のための募金活動」を行いました。初日は、立ち止まってくれる生徒が少なかったですが、徐々に興味を持ってもらえたのか、「明日持ってくるね！」「みんながんばってるね！」など、本部役員に声をかけてくれたり、募金してくれる生徒が増えました。ご協力いただいた皆さん、関心を持ってくれた皆さんありがとうございました。今回お預かりした募金総額13,270円は、日本赤十字社群馬県支部を通して熊本へ確実に届けたいと思います。

＜ちょっといい話＞

ある日の夕方、下校途中の中央中の女子生徒が、市役所前の横断歩道の手前で、車の通り過ぎるのを待っていると車が止まってくれました。しかし、中学生はなかなか渡りません。すると、車の女性ドライバーが身振り手振りで「どうぞ渡って」の合図を中学生に送ります。中学生もその合図に「どうぞ(車が)先に行ってください」というジェスチャーでドライバーに伝えます。そんなやりとりを数回繰り返したあと、ようやく中学生が横断歩道を小走りで渡りました。その後の中学生のとった行動が素晴らしいかったです。中学生が横断歩道を渡りきると振り返り、止まってくれたドライバーに深々とお辞儀したのです！ドライバーは笑顔でその場を離れました。

お互いのことを思いやるドライバーと中学生の様子をそっと見ていた私は心が温くなりました。そして素敵な中央中の生徒の行動から、たくさんのエネルギーをもらいました。



○「学校だより」のバックナンバーや主な「学校行事」の様子は、学校ホームページに掲載いたしております。



学校ホームページ
最新記事へ

(文責 校長)